

熊本 S.J.C.D.例会 抄録

演題：診断の大切さを痛感した一症例

演者名：松下哲也

日付：2012年6月26日

Keywords

1. バーティカル・ストップ
2. アンテリア・ガイダンス
3. メインテナンス

抄録：

患者は53歳女性、初診は2002年9月24日で、右上の歯茎が痛いという主訴で来院しました。

4 は歯周病が進行し、7 は近心傾斜、6 5 欠損で右側の咬合が崩壊しており、1 は歯根吸収が認められました。

当初はブリッジを計画しましたが、右上臼歯部に関しては、結局インプラントで対応し、バーティカル・ストップとアンテリア・ガイダンスを確立した症例です。

以後メインテナンスでフォローしていき、補綴後8年半経過した症例です。

諸先生方のご意見・ご指導を、宜しくお願い致します。